

# Javaのフレームワークについて

## 1. JSF(Java ServerFaces)

### 1. 1 特徴

JavaEEの環境で動作するコンポーネントベースのフレームワーク。View側のファイルがXHTMLであり、JSPを使わない。UIを簡単に作成できることができる。利点としては、開発チームとデザインチームで分業できることが挙げられる。開発環境はNetBeans。

## 2. PlayFramework

### 2. 1 特徴

Webアプリケーション開発に必要なコンポーネント、APIを統合したJavaとScala(Javaの拡張言語)のフレームワーク。軽量で動作が早いことが特徴。ViewはJSPは使用せず、htmlとGroovyを組み合わせて使用。独自の組み込みサーバ(Netty)をもっている。開発環境はNetBeans,Eclipse,IntelliJ IDEA。

## 3. SpringFramework

### 3. 1 特徴

依存性のあるプログラムを外部から取り入れる形で、1つ1つのプログラムを独立させやすくなっており修正、変更しやすい。専用のテストプログラムが使えるため、テストがしやすい。世界的に多く使われている。開発環境は(STS)公式IDE,Eclipse。

## 参考

アクションベースは、URLをもとにアクションが決まり、そのアクション内で表示するアクションが決まる流れである。一方、コンポーネントベースは表示する画面が決まり、それに対応する画面処理クラス(バックングビーン)が決まる。

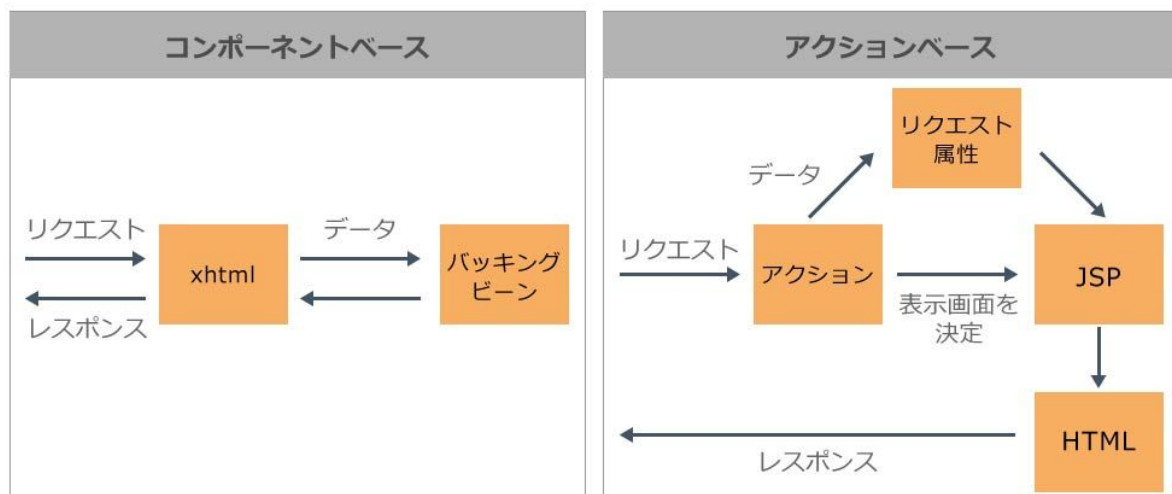


Fig.1 コンポーネントベースとアクションベースの違い

(【JavaEE】今からでも間にあうJSF入門, <http://www.dcom-web.co.jp/technology/jsf1/>)